



発行日／2008年（平成20年）8月18日 発行／羽生市議会 編集／議会だより編集委員会



羽生領利根川水防事務組合 水防団工法訓練 ～6月28日(土)～

水害に備えて、発戸地先で羽生市、加須市、大利根町水防団による訓練が行われました。

会議のあらまし

（六月定例会市議会）

・六月四日（本会議第一日）

開会の後、会期について議会運営委員長から報告があり、六月二十日までの十七日間と決定。

諸般の報告の後、請願の委員会付託を行う。

続いて、議案第三十二号から同第三十八号まで、同第四十七号から同第四十九号までの上程、採決を行う。

続いて、議案第三十九号から同第四十六号まで、同第五十号及び同第五十一号が上程され、提案説明を受け散会。

・六月五日～十日

議案調査等のため休会。

・六月十一日（本会議第二日）

議案第三十九号から同第四十六号まで、同第五十号及び同第五十一号に対する質疑の後、議案を各委員会に付託して散会。

・六月十二日（本会議第三日）

市政に対する一般質問（四人）を行う散会。

・六月十三日（本会議第四日）

市政に対する一般質問（四人）を行う散会。

・六月十四日、十五日

休日のため休会。

・六月十六日

付託議案等の審査のため、各常任委員会を開催。

・六月十七日～十九日

各常任委員会事務整理等のため休会。

・六月二十日（本会議第五日）

付託議案等について各常任委員長から審査報告があり、質疑、討論、採決を行った後、議員から議案一件が上程され、採決を行い閉会。

市政に 対する

一般質問

そこが…
聞きたい



一般質問は、提出議案以外の市政全般にわたる事務の執行状況や将来に向かっての方針などを執行部に尋ねるものです。

今期定例会では、議案質疑に続き、六月十二日、十三日の二日間にわたり八人の議員によって行われました。

主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

*フィルムコミッションの 設立について

中島直樹議員

・質問 映画やドラマ撮影を円滑に進めるためのフィルムコミッションが、現在県内九つの自治体で設立されている。私達の住む街が、テレビや映画、CMで流されることで有名になれば、人を呼び込む観光資源になったり、子供たちが撮影クルーを目の当たりにすることでキャリア教育にも寄与すると考えられる。少ない予算で多くの効果が得られ、大きな可能性もあるフィルムコミッションの設立を考えてはどうか。

・答弁（経済環境部長）

本市は、都心から東北自動車道を利用し一時間の距離にあり、利根川を背景に自然環境に恵まれた緑豊かな田園都

市である。春には葛西用水堤の桜並木や大天白公園の藤、懐かしい風情のある路地裏がまだまだ残っている。

議員指摘のフィルムコミッションの活動が、今全国的に行われているが、単なるロケ支援にとどまってしまうのは意味がなく、市民が生きがいや楽しみを感じたり、市民自身が地域資源を再発見したりすることができるよう、いかに多面的に地域づくりに結びつけていくかが大切である。

現在、映像制作者からロケ等の協力依頼があった場合は、施設を管理している担当部署が主に対応しており、田舎教師や地場産業など観光、物産等に関する場合は、商工課あ

るいは秘書広報課が撮影内容にに応じて対応している。

また本市では、埼玉県ローションサービスに産業文化ホール、羽生水郷公園、さいたま水族館、藍染めが登録されているが、さらに積極的な取り組みをし、より映像をまちづくりにつなげていくべきだと考えている。

今後、市あるいは観光協会が中心となつて、市民の方々の参加をいただきながらフィルムコミッションの立ち上げを進めていきたい。

その他の質問

・「ネットいじめ」の現況について
・パパママ応援ショップについて

*フィルムコミッションとは
映画やドラマなどの撮影場所誘致や撮影支援をする公的機関。撮影誘致などを行うことによって地域活性化、文化振興、観光振興を図るのがねらい。国内の連絡機関として全国フィルムコミッション連絡協議会が設立されている。

議会の詳細は 市議会会議録 をどうぞ

「羽生市ぎかいだより」は、毎年四回開催される定例会ごとに、本会議で行われた一般質問や議案質疑の主な内容、答弁などをお知らせしています。

なお詳細にわたって内容を知りたい場合は、市議会が発行している「羽生市議会会議録」をご覧ください。

前議会までの会議録は市議会図書室（市役所四階）、市立図書館、各地区公民館に備え付けてあります。

また、市議会会議録は、市のホームページでも閲覧できます。平成八年度以降の会議録がご覧になれますので、ぜひご利用ください。

第二期障害福祉計画の策定に向けて

小野 幸夫 議員

・質問 本年度は、羽生市障害福祉計画第一期が終了し、二期目の策定作業の年になる。この計画策定に向けて次の点について伺いたい。

- ① 羽生市における障がい者の現状と目標値について
- ② 今後の計画策定の進め方
- ③ 障がい者福祉サービスと地域生活支援事業の充実

・答弁（市民福祉部長）

- ① 本年四月一日現在における手帳所持者数は、身体障がい者千七百十人、知的障がい者三百二人、精神障がい者百六十人、合計で二千七百七十二人である。
- 本市では、第一期障害福祉

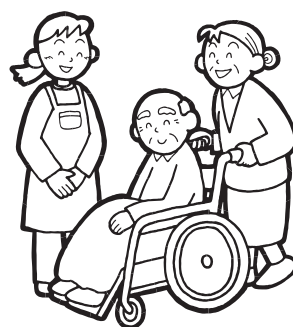
計画において、平成二十三年度を目標準度として施設入所者の地域生活への移行三人、退院可能な精神障がい者の地域生活への移行六人、福祉施設から一般就労への移行四人、合計で十三人の移行を計画している。

委員会を設置するとともにパブリックコメントも実施し、平成二十一年二月の策定を予定している。

③ 障がい者福祉サービスは、訪問系、日中活動系、居住系等のサービスがあるが、本市及び近隣市のサービスの相互利用で十分対応できている。

その他の質問

・タバコ対策について



休日の窓口開庁の拡大を

茂木 延夫 議員

・質問 平成十八年度から行っている休日開庁は、利用者が年々増加傾向にあるように思う。そこで、現行の月一回の休日開庁から毎週日曜日の開庁にできないであろうか。

また、今後各種証明書を地区公民館で交付することは可能か。証明書等の自動交付機

の利用率低迷の打開策もあわせて伺いたい。

・答弁（企画財務部長）

本市の休日開庁は、平成十八年度、十九年度の試行ということで毎月第一日曜日の午前中、市民生活課と税務課の二課で始まった。

平成十八年度は、両課で三



休日開庁の様子（市民生活課）

百十八人、平成十九年度は、三百九十九人の利用があった。その間の市民からの要望とその対応状況は、市民生活課で

は、月一回以上の開庁要望はなく現状どおりとし、自動交付機の活用を促進する、税務課では、税証明にかかわる来庁者が十八名のみで費用対効果が薄いのではないかと、福祉関係部門では、開庁要望はなかったとのことであった。

そして今年度は、組織の再編もあったことから再検証することとし、試行期間の延長が決定されたところである。

次に、各種証明書の地区公民館での交付については、開庁時間延長検討委員会が公民

館の活用について検討するよう指示されており、どのような手法が考えられるか、問題点が何か検討し、本年度中に結論を出す予定でいる。

最後に自動交付機の利用促進と市民カードの普及については、市の広報紙やホームページで利用促進のPRをさらに積極的に進めてまいりたい。

その他の質問

・市の財政状況を市民にわかりやすく公表してはどうか

道の駅の状況について

松本敏夫 議員

・質問 当市の道の駅は、平成十九年八月に県内十八番目の道の駅としてオープンし約一年がたつが、次の点について質問する。

- ① オープン時からの入場者数と売り上げ実績
- ② 売り場面積の今後の拡張
- ③ 道の駅における事故やトラブルの報告について

・答弁（経済環境部長）

- ① 元来道の駅は道路利用者が自由に利用できるようつくられた施設であり、利用者をカウントする設備はない。このため売店でのレジカウンターを集計ではあるが、三月までの八ヶ月間で十六万三千二百

八人の来客者があったということである。

また農産物等の本年三月末の売り上げ実績は、合計一億六千三百七十二万八千円で順調に推移している。

② 市では、水防センター内の売り場部分の拡張を行って、二百三十三㎡を確保し最大限の活用をしているが、災害発生時にこの施設は、水防活動の拠点となることから、これ以上敷地内に他の建物の建築は認められていない。

このため今後、行楽シーズ



賑わいの続く道の駅はにゅう

ン等来客者が多く見込まれるときは、建物南側の芝生スペースを有効活用し、簡易テ

ト等で特産品の販売を行っていききたい。

③ 道の駅には、多くの自動車がいち寄り、車と人が絶え間なく往来している。その中、市で把握している事故は四件ある。いずれも交通事故であり、その内容は、駐車場南側フェンスに車が衝突したもの、北側トイレの壁に車が衝突したもの、北側出入り口付近での接触事故二件である。このため、カーブミラーや走行車線際に反射板を設置するなど、の再発防止策を構じた。

多重債務者対策について

藤倉 宗義 議員

・質問 多重債務に陥っている人が全国で二百万人以上いるとされ、政府は平成十九年に多重債務改善プログラムを発表した。景気の低迷、物価上昇の中、当市の滞納額もなかなか減っていない状況には多重債務者が原因の場合もあるのではないか。

そこで、多重債務者の相談体制、借金で苦しむ人への市役所内での連携、外部機関とのネットワークはどのように図られているのか伺いたい。

・答弁（市民福祉部長）

滞納者の中に多重債務者がどの程度存在するか、その実態把握は難しいが、多重債務



市で行っている消費生活相談

者との関連が深いと思われる破産事件について、本市が裁判所等に交付要求した件数は、

平成十八年度、平成十九年度ともに三件であった。

多重債務者対策に関しては、県による相談窓口の整備要請があり、五月現在で六十一市町がその窓口を開設した。そして当市では、消費生活相談を多重債務者の相談窓口と位置付け対応している。

借金に苦しむ方を助ける市役所内での連携については、現在はそれぞれの課所において対応している状況なので、今後検討してまいりたい。

外部機関や専門家とのネッ

その他の質問

「キヤッセ羽生」のさらなる業績アップについて

五歳児健康診査の導入について

齊藤 隆議員

・質問 現在、子どもの就学前健診は法に基づいてゼロ歳、一歳半、三歳、小学校就学前に行われているが、平成十八年度の厚生労働省の研究報告書によると、五歳児健診が軽度発達障がいが発見に有効とされている。

そこで、三歳児健診及び小

・質問 現在、子どもの就学前健診は法に基づいてゼロ歳、一歳半、三歳、小学校就学前に行われているが、平成十八年度の厚生労働省の研究報告書によると、五歳児健診が軽度発達障がいが発見に有効とされている。

そこで、三歳児健診及び小

・質問 現在、子どもの就学前健診は法に基づいてゼロ歳、一歳半、三歳、小学校就学前に行われているが、平成十八年度の厚生労働省の研究報告書によると、五歳児健診が軽度発達障がいが発見に有効とされている。

そこで、三歳児健診及び小

障害者控除対象者認定書について

入江 國夫議員

・質問 障害者手帳をもってなくても、介護保険認定者は市長の判断で、障害者控除対象者認定書が発行される。諸物価の高騰が続く現在、障害者の経済的負担を軽くするこの制度を受けている対象者は、現在何人いて、発行数はどの位なのか。また、この認

・質問 障害者手帳をもってなくても、介護保険認定者は市長の判断で、障害者控除対象者認定書が発行される。諸物価の高騰が続く現在、障害者の経済的負担を軽くするこの制度を受けている対象者は、現在何人いて、発行数はどの位なのか。また、この認

・質問 障害者手帳をもってなくても、介護保険認定者は市長の判断で、障害者控除対象者認定書が発行される。諸物価の高騰が続く現在、障害者の経済的負担を軽くするこの制度を受けている対象者は、現在何人いて、発行数はどの位なのか。また、この認

査、視聴覚検査を行っている。平成十八年度の受診者は四百三十七名で、受診率は九十六・九％であった。その際、言葉や精神発達の遅れ、ダウン症等の所見者があり、健診後のフォロー体制として親子教室、言語相談、理学相談を行っている。

一方、小学校就学前健診は、学校保健法に基づき、栄養状態、脊柱・胸郭、視覚、聴覚、耳鼻咽喉、口腔等の異常の有無を検査している。

平成十八年度は、五百九名

が受診し、受診率は百％であったが、健診結果については、必要に応じ保護者に治療勧告をしている。



3歳児健診（6月25日）

ちなみにその際、知能検査、言葉の検査も行っているが、軽度発達障がいが発見するには至っていない。

五歳児健診を実施するには臨床心理士や保健師の配置、担当者研修、相談体制や継続的な支援体制が必要であるので、そういった体制を作りながら早期に実現できるよう準備を進めてまいりたい。

その他の質問

・文化・芸術の振興について

は特別障害者控除分を計上することができ。

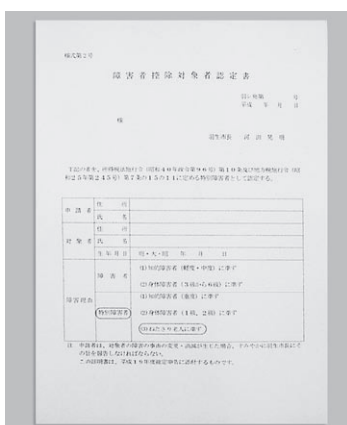
本市では、要介護四と五の方に對して、主治医意見書に記載されている寝たきり度をもとに対象者の障がい状況を

確認することで認定書を交付している。

平成十九年度の対象者は、四百三十名で、そのうち認定書の発行数は百七十一件であった。この数の差には、申告

をする必要のない人も含まれていると考えているが、認定基準を再考し、更なる整備を行い、その発行を促進してまいりたい。

また、制度の周知については、今までも市の広報に掲載すると



障害者控除対象者認定書

その他の質問

・後期高齢者医療制度について

・子ども医療制度について
・アスベスト問題について

消防広域化計画と 市町村合併について

蜂須直巳議員

・質問 今年一月に決定された、県内の消防組織をセブロック化する案で、当市は羽生・加須エリアに属することになったが、日常的な応援体制はどうなっているか。また今までのような協議がなされ、今後どう進められていくのか。

さらに、消防を含む様々な共同事業の積み重ねが市町村合併問題を考える上で重要であると考えるが、現段階で採るべき行動は何か。

・答弁(市長)

本市は、県内三十六消防本部をブロック化する案で、五市九町、管轄人口約五十八万人の枠組みに入っている。

日常的な応援体制に関しては、行田市消防本部と加須地区消防組合との相互応援協定を、さらに県内全ての消防本部間では埼玉県消防応援協定を結んでおり、工業団地の大規模工場や文化ホール等の合同訓練を実施してきた。



大型商業施設における
合同火災防御訓練

今まで消防の広域化について、具体的な協議はなされていないものの、県は七月に市町村各消防本部への説明会を行い、ブロック別連絡会議を開催する予定である。

市町村合併に関しては、利根北部地域の二市三町で進めるべく関係部署に指示を行っている。合併に向けて協議を進めている。合併で大切なのは、将来に向かう共通目標であり、その前提は、それぞれのまちの長所を尊重し、互いに補い合う意識である。議員指摘のように、関係市町による消防、

防災、ごみ処理や福祉関連事業などの共同化、イベント等の市民交流を通して、信頼関係が構築されるよう図ってまいりたい。

その他の質問

・幹線道路沿いの開発計画について

**義務教育費国庫負担制度の堅持を求める
意見書を国へ提出**

義務教育費国庫負担制度は、平成十八年度よりその負担率が三分の一へ引き下げられ、税源移譲と地方交付税により調整されるということになりました。

これにより、自治体ごとの財源格差による地域の教育格差拡大が懸念されます。よって安定的な教育予算の確保のために負担割合の復活を求め、六月二十日の最終日に、議員提出議案として、「義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書」が上程され、賛成多数で可決されました。本意見書は、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣に提出しました。

議案に対する質疑

「議案に対する質疑」とは、議会に上程された議案について質疑を行うことであり、賛否の意思決定をするために、議案の提出者に対し、説明や考えを求めるものです。

今期定例会においては、次の議員によって議案に対する質疑が行われました。

中島 直樹 議員

○議案第四十六号 羽生市都市公園条例等の一部を改正する条例

た羽生市財政健全化計画の中に使用料の見直しが行われていることにより実施するものである。

・質疑 この条例改正により、中央公園、斎場、体育館、産業文化ホール、夜間照明施設、勤労福祉センター、女性センター、市民プラザ、三田ヶ谷農林公園の施設利用料が実質的に値上げされるが、これはどのような経緯を経たものなのか。

提案に至るまでには、まず市役所内部で検討を重ねたものを、市長を本部長とする羽生市行政改革推進本部で議論・調整し、民間の方により構成される羽生市行政改革推進委員会に諮り意見・助言を反映させた。

また、値上げに対する説明責任をどのように果たしていくつもりか。

また、市民への説明に関しては、市の広報紙、ホームページに掲載するとともに、各施設の窓口において改正内容を掲示する。さらに関係する諸団体の方々にも施設ごとの担当者から事前に説明するなどし、利用者に改正内容を広く周知することができるよう配慮して、十月一日を施行日としたものである。

・答弁(企画財務部長)

今回の取り組みは、平成十八年度に定めた第四次羽生市行政改革大綱、同集中改革プラン及び翌十九年度に定め

茂木 延夫 議員

○議案第四十五号 羽生市営駐車場条例の一部を改正する条例
・質疑 西羽生駅前駐車場は、近年の利用状況から財産の有効活用を図るべく廃止することであるが、当該駐車場の具体的な廃止理由、今後どのように活用されるのか、またその効果をどのように考えているのか伺う。

・答弁（企画財務部長）

このたび廃止を提案した西羽生駅前駐車場用地は、昭和五十一年の新田土地区画整理事業により秩父鉄道西羽生駅の駅前広場用地として確保したもので、土地の有効利用のため平成十二年より駐車場として活用しているものである。その面積は、概ね六百㎡で、駐車区画二十台分を用意していた。

しかし、開設当初より利用台数が伸びず、平成十八年度が三台、十九年度が二台という状況で、現在に至っても鉄道利用者の増加は見込めない。そして、将来的にも現在の道

路形態で十分機能を果たせると考えられるので、廃止後は東側の余剰地約六百五十㎡も含めて公売に付す計画である。

効果については、固定資産税等の増収が想定されるといふ財政面への寄与が考えられる。

＜その他の質疑＞

・議案第三十九号、同第四十六号

斉藤 隆 議員

○議案第五十号 羽生市清掃センターごみ焼却施設改修工事請負契約の締結について

・質疑 本契約は、昨年度行われた一号炉ガス冷却塔及び空気予熱器等の交換改修工事に続く同様の二号炉に係る交換改修工事であると認識しているが、全く同じ工事内容であるのか。また、価格の算定根拠を伺いたい。

・答弁（企画財務部長）

本年度予定している二号炉改修工事は、昨年度実施した工事と比較すると、塩化水素濃度計の工事を行う必要がないことを除いてほぼ同様の工

事内容になっている。

見積書比較価格の設定に当たり、昨年度の消費税を除く

工事価格二億八千五百万円から塩化水素濃度計の工事を実施しない分の千五百万円と、さらに今年度も昨年度とまったく同型のものを整備することによる施工管理等の節減の効果千百万円を差し引き、

見積書比較価格を二億五千八百九十万円とした。見積もり結果は、二億四千七百万円であり、消費税込みで二千四百十五万円の削減になったので、随意契約における一定の効果があったものと考えている。

＜その他の質疑＞

・議案第三十九号、同第四十号、同第四十一号、同第四十五号、同第四十六号

藤倉 宗義 議員

○議案第四十号 羽生市ふるさと応援寄附条例

・質疑 法改正に伴って、各自治体で寄附金を獲得すべく様々な取り組みを行う中で、記念品の贈呈を企画する市もあるようだが、当市では寄附

を促すPRや手続き上の工夫をどのように考えているか。

・答弁（企画財務部長）

この制度は市内外の方が寄附可能となっていることから、寄附拡大のためのPR策については、まず広報紙やホームページに掲載し広く周知をすよう計画している。

また直接本制度の仕組みを聞かれることも予想されるので全職員に周知するとともに、市内の工業団地に立地する企業に対しても従業員の方々に説明していただけるよう協力をお願いしてまいりたい。

さらに、NPO法人によるふるさと納税応援サイトなども開設され、各自治体のPRに貢献している事例もあることから、今後これらの活用も視野に入れていきたい。

記念品等の贈呈については、感謝の気持ちを形で示すのはいいが、度が過ぎて物でつるようなことになってしまうのはいかがなものかという総務省の見解などから、まずは今後の状況を見守りたい。

＜その他の質疑＞

・議案第四十六号

審議案件とその結果

（6月定例市議会）

▽議員提出議案

○六月二十日 原案可決

議案第三号 義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書

▽市長提出議案

○六月四日 承認、原案可決

議案第三十二号 専決処分の承認を求めることについて（一）

議案第三十三号 専決処分の承認を求めることについて（二）

議案第三十四号 専決処分の承認を求めることについて（三）

議案第三十五号 専決処分の承認を求めることについて（四）

議案第三十六号 専決処分の承認を求めることについて（五）

議案第三十七号 専決処分の承認を求めることについて（六）

議案第三十八号 平成二十年度羽生市一般会計補正予算（第一号）

議案第四十七号 埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について

議案第四十八号 羽生市土地開発公社の定款変更について

議案第四十九号 損害賠償の額を定め、和解することについて

小野 幸夫 議員

○議案第三十九号 平成二十年度羽生市一般会計補正予算(第二号)

・質疑 次の点について伺いたい。

①小学校理科支援員配置事業について、その具体的な事業内容と支援員の資格要件

②図書館及び郷土資料館の開館拡大について具体的な開館日と延長時間

・答弁 (①学校教育部長、②生涯学習部長)

①本事業では、須影小学校に一名、一日三時間、今月から来年二月までの間で六〇日間配置する計画をたてている。

具体的な活動内容は、小学校五年生、六年生の理科の授業で教員の補助として観察、実験の準備、かたづけなど学習支援を行うことを予定している。

理科支援員は、教員免許は不要なので、教師を目指す大学生等の採用を考えている。

②開館日の拡大については、平成十八年度より試行していた建国記念日、子どもの日、

敬老の日、文化の日、昭和の日、憲法記念日、海の日、勤労感謝の日、天皇誕生日を加える。

また、開館時間の延長については、平成十三年度より六月から九月までの平日開館時間を午後六時までとしていたが、さらにこれを午後七時まで延長する。

島村 勉 議員

○議案第四十六号 羽生市都市公園条例等の一部を改正する条例

・質疑 競技場や体育館、市民プラザなどの使用料を改定するとのことであるが、比較的新しい施設や改修されている施設もあるものの、かなり老朽化が進んでいて安全性の確保が不十分な施設もある。この引き上げ額を基に、施設の修繕や改修の計画はあるのか。

・答弁 (企画財務部長)

様々な公共施設の老朽化が進む中、市は財政状況を見ながら優先度を勘案し、改修のための予算を措置している。本年度においても清掃セン

ター焼却施設の改修工事を始めとして、羽生北小学校の改修、市営宮田団地の改修等、市民生活に直接影響を及ぼすものの改修工事を実施する。

今後も、各小・中学校校舎の大規模改修や地区公民館、道路や公園のメンテナンス費用の増大が予想されるが、この度の使用料改定は、羽生市が自治体として存続するのに必要な財政基盤の確立を目指す取り組みである。

値上げ分の使途を明確にすべきとのことであるが、この度の使用料改定をもって、それぞれの施設が改修を行えるということではないことをご理解賜りたい。

〈その他の質疑〉
・議案第三十九号、同第四十号

蜂須 直巳 議員

○議案第四十六号 羽生市都市公園条例等の一部を改正する条例

・質疑 この一部改正議案は、自主財源の確保、受益者負担の原則に基づくものではあるうが、とりわけ体育施設の活

用とスポーツ宣言都市としてのスポーツ振興との兼ね合いについて、検討経過の中でどのような議論があったか。

また、今回の改定が今後市内小・中学校の施設利用料の引き上げにどう影響するのか。

・答弁 (企画財務部長)

今回の検討経過の中でも、スポーツ振興の後退にならないようすべきだとの意見が多くあり、利用状況の調査等を実施し、施設の利用区分に加え減免規定、還付規定の改正も行った。

具体的には、体育館の使用については午前、午後、夜間、全日という区分から三時間程度の利用が多いため時間ごとの使用単位に改めた。

また、新たに規定した使用料二分の一減免の対象に体育協会、スポーツ少年団、レクリエーション協会加盟団体の公式大会等を加えた。

小・中学校の施設利用料については、社会教育のための利用と社会体育の振興を図るための利用が別の条例で規定されているので、まずはこれらの条例の統合を図り、他の施設の使用料なども考慮し改正していく考えである。

◎六月二十日 原案可決

議案第三十九号 平成二十年度羽生市一般会計補正予算(第二号)

(第二号)

議案第四十号 羽生市ふるさと応援寄附条例

議案第四十一号 羽生市協働による地域づくり基金条例の一部を改正する条例

議案第四十二号 羽生市税条例の一部を改正する条例

議案第四十三号 羽生市都市計画税条例の一部を改正する条例

議案第四十四号 羽生市重度心身障害者医療費の支給に関する条例及び羽生市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

議案第四十五号 羽生市営駐車場条例の一部を改正する条例

議案第四十六号 羽生市都市公園条例等の一部を改正する条例

議案第五十号 羽生市清掃センターごみ焼却施設改修工事請負契約の締結について

議案第五十一号 羽生市公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する基本協定の締結について

▽請願 採択

請願第一号 義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願

九月定例市議会の日程

九月定例市議会は、左記のような日程で予定されています。

月	日	曜日	開始時刻	内容
九月	三	日	午前十時	本会議初日（開会）
九月	四	月	午前十時	議案調査等のため休会
九月	五	火	午前十時	本会議（議案質疑）
九月	六	水	午前十時	本会議（一般質問）
九月	七	木	午前十時	本会議（一般質問）
九月	八	金	午前十時	本会議（一般質問）
九月	九	土	午前十時	敬老会開催等のため休会
九月	十	日	午前十時	本会議（一般質問）
九月	十一	月	午前十時	各常任委員会
九月	十二	火	午前十時	各常任委員会
九月	十三	水	午前十時	各常任委員会
九月	十四	木	午前十時	各常任委員会
九月	十五	金	午前十時	各常任委員会
九月	十六	土	午前十時	各常任委員会
九月	十七	日	午前十時	各常任委員会
九月	十八	月	午前十時	各常任委員会
九月	十九	火	午前十時	各常任委員会
九月	二十	水	午前十時	各常任委員会
九月	二十一	木	午前十時	各常任委員会
九月	二十二	金	午前十時	各常任委員会
九月	二十三	土	午前十時	各常任委員会
九月	二十四	日	午前十時	各常任委員会
九月	二十五	月	午前十時	各常任委員会
九月	二十六	火	午前十時	各常任委員会
九月	二十七	水	午前十時	各常任委員会
九月	二十八	木	午前十時	各常任委員会
九月	二十九	金	午前十時	各常任委員会
九月	三十	土	午前十時	各常任委員会

※九月定例市議会の日程は、正式には九月一日（月）に開催予定の議会運営委員会で決まりますので、変更になる場合もあります。

傍聴について

・羽生市議会では、本会議の傍聴を実施しております。市役所五階で受付をしていただければどなたでも傍聴できます。

また、常任委員会の傍聴（五席程度）も実施しておりますので、開催日等をご確認のうえ、お気軽におこしください。

詳しくは、議会のホームページをご覧ください。議会事務局にお問い合わせください。

☎048(561)1121
内線 513

埼玉県都市競艇組合を視察

七月七日、市議会議員が埼玉県都市競艇組合を視察し、職員数、入場者数、売上金、ボートピア岡部の状況、各市への配分金等について説明を受けました。

近年の売上状況は、一時的に持ち直す年はあるものの、基本的に減少傾向にあるとのことでした。



埼玉県都市競艇組合は、競艇事業を主催することで、収益金を生み出し、毎年その収益金を各構成市に配分しています。その構成は、県内の自治体十六市からなり、当市は昭和三十二年の当初より施行

指定市として認可されています。平成十九年度は、五千万円の配分金を受けており、市政運営の貴重な財源となっています。

戸田競艇場

◆開催日◆

日	月	火	水	木	金	土
	8月18日	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	9月1日	2	3	4	5	6
			第25回内外タイムス杯			
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20



各常任委員会の経過

総務文教 委員会

委員会に付託された案件は、議案七件、請願一件でした。

平成二十年度羽生市一般会計補正予算第二号の審査では、歳入の使用料及び手数料において、二百四十九万円の増額となる積算根拠と、平均上昇率はどの位かとの質疑に対して、平成十九年十月から三月までの利用実績をもとに算出したもので、アップ率は平均すると十六%を見込んだとの答弁がありました。

また、羽生市都市公園条例等の一部改正条例では、条例の施行が十月からとなっているが、改定を来年度にしなかった理由は何かとの質疑に対して、行政改革推進本部及び民間の方からなる行政改革推進委員会より、計画的かつ早

急に改定すべきとの意見をいただき、十月施行としたとの答弁がありました。

さらに、義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願では、教育の格差を生まないためにも財源の確保は必要、財源の復元を求めるものであり賛成するとの意見と、法の規



審査結果を報告する斉藤委員長

定や自治体ごとの工夫で一般財源を確保することは可能である。税源移譲に伴う補助率の引下げで教育費が減るとは一概に言えないため反対であるとの意見がありました。

産業民生 委員会

これらの審査の結果、付託議案七件はいずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。また、請願は採択すべきものと決しました。

委員会に付託された案件は、議案四件でした。

平成二十年度羽生市一般会計補正予算第二号の審査では、社会福祉費において、特別支援学校放課後児童対策費補助金の支出予定の施設はどこかとの質疑に対し、当初予算では、騎西町の児童クラブに通所している一名分の補助金を、補正予算では、行田市と久喜市の児童クラブに通所を希望している新規転入者二名分を計上したものであるとの答弁がありました。

また羽生市清掃センターごみ焼却施設改修工事請負契約の締結の審査では、今後の改修予定はどのようかとの質疑に対し、施設維持のため、焼却炉内の耐火レンガの交換や

バグフィルターの交換など引き続き毎年一億円程度の修繕を行っていく必要があるとの答弁がありました。

さらに、羽生市公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する基本協定の締結の審査では、本年度から平成二十三年度までの協定額は、十八億五千万円だが、平成二十四年度以降の計画は、どのようになっているかとの質疑に対して、二十四年度から三十年度までが第二期工事として計画され



審査結果を報告する小野委員長

ており、その概算事業費は二十三億二千三百万円であるとの答弁がありました。

これらの審査の結果、付託議案四件はいずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

六月定例市議会傍聴者数

六月 四日……五人
十一日……五人
十二日……二十八人
十三日……三十人
二十日……二人
計 七十人でした。

常任委員会傍聴者数

六月 十六日……一人
計 一人でした。

《議会だより編集委員会》

委員長 丑久保 恒行
副委員長 蜂須 直巳
委員 藤倉 宗義
委員 斉藤 隆
委員 小野 幸夫



ご意見などを
編集委員会まで

☎048(561)1121
(内線) 512